



クラウドセキュリティ 提案ガイド

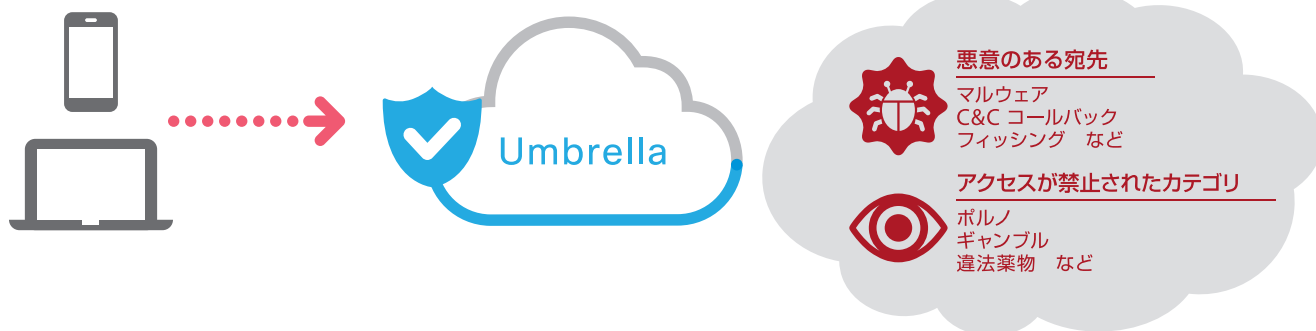
2020年度10月版



Cisco Umbrella

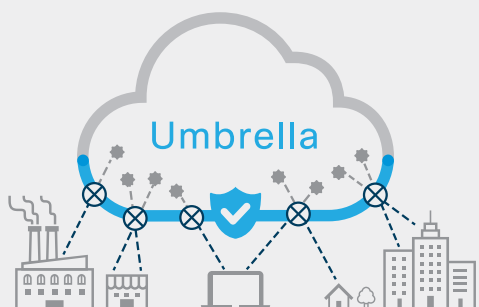
Umbrellaとは？

危険サイトや、利用禁止サイトへのアクセスを防ぐクラウドサービスです。



Umbrellaの提案ポイント

1. テレワーク/リモートワークに最適！



社内/社外を問わずセキュリティを提供

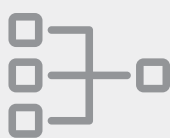
アップデートはクラウド側で行われるため
ユーザの定期的な更新作業が不要

2. クラウドサービスなので導入が簡単！

サーバの増設



ネットワークの変更



リモートアクセスVPN



クラウドサービスなので
すべて不要！

3. アプリケーションの見える化を実現！



大量のDNSリクエストを収集



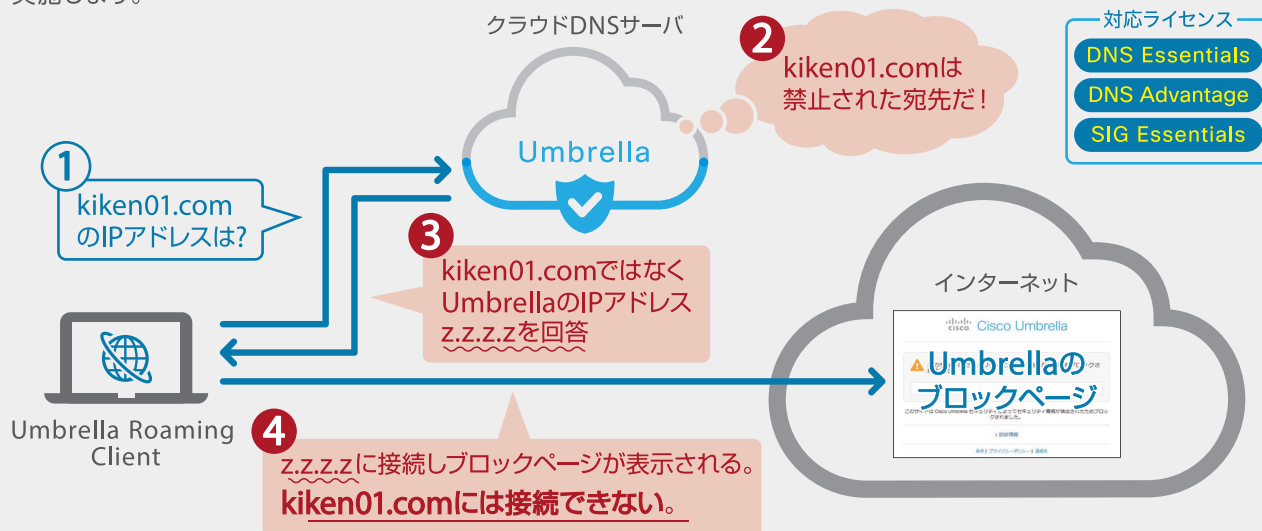
利用アプリケーションを分析



Umbrellaの主な機能

DNSレイヤセキュリティ

クライアントソフトまたは対応したNWデバイスを使用して、UmbrellaにDNSリクエストを転送し、アクセス制御を実施します。



セキュアWebプロキシ

WebアクセスをUmbrellaのクラウドWebプロキシ経由とすることでURLの安全性チェックやファイルスキャンを行います。(HTTPS対応)

選択的プロキシとフルプロキシの2つの導入形態があります。

選択的プロキシ



フルプロキシ



*フルプロキシ機能のご利用には対応したゲートウェイ機器がAnyConnectライセンスが必要です。

Umbrellaの主な導入パターン

パターン①

オススメ

PCやスマートフォンにクライアントソフトをインストールする

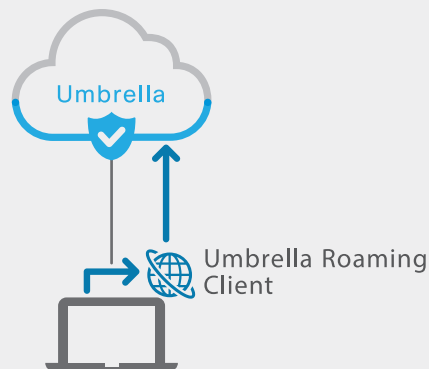
インストールしたクライアントソフトがDNSリクエストを自動的にUmbrellaへ転送する方法。

メリット

接続先のネットワークに関係なくすぐに利用することが可能。

デメリット

クライアントソフトをインストールしていないゲストデバイス等にはセキュリティを適用することが出来ない。



パターン②

対応したネットワークデバイスと連携する

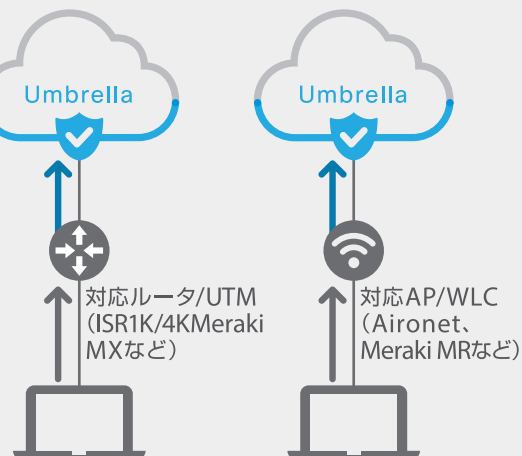
対応したネットワークデバイスが経由する通信のDNSリクエストをUmbrellaに転送する方法。

メリット

接続するクライアントに設定やインストールが必要無い。

デメリット

テレワークや外出先のユーザに対してセキュリティを適用することが出来ない。



パターン③

仮想アプライアンスを導入する

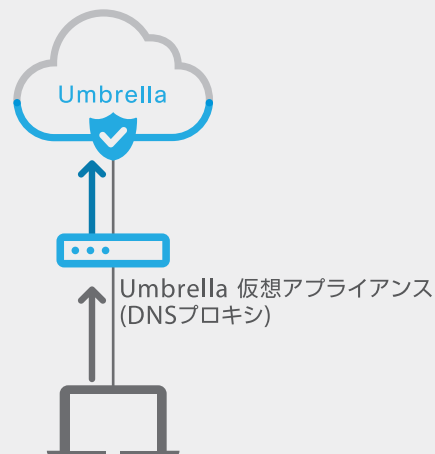
LAN内にDNSプロキシとして動作する仮想アプライアンスを導入する方法。

メリット

Active Directoryのユーザ情報が連携可能。

デメリット

仮想化環境の準備が必要になり、社内システムとの連携も考慮する必要がある。



Umbrellaのパッケージ

DNS Security Essentials

(型番:UMB-DNS-ESS-K9)

DNSレイヤセキュリティに機能を絞ったシンプルで安価なライセンス

DNS Security Advantage

(型番:UMB-DNS-ADV-K9)

DNS Security Essentialsにクラウドプロキシを追加したセキュリティ強化版パッケージ

SIG Security Essentials

(型番:UMB-SIG-ESS-K9)

全ての通信をクラウド経由とし高度なセキュリティを実現するためのパッケージ

簡易機能比較表

	DNS Security Essentials	DNS Security Advantage	SIG Essentials
DNSレイヤセキュリティ	●	●	●
ドメインによる制御と可視化	●	●	●
URLによる制御と可視化			●
セキュアウェブプロキシ		選択的プロキシ	フルプロキシ

※詳細な比較表については下記リンクをご参照ください。

https://www.cisco.com/c/dam/global/ja_jp/products/collateral/security/umbrella/umbrella-pack-comparison-ds.pdf

パッケージ数の考え方

<例> ユーザAが2デバイス、ユーザBが3デバイスを5年使用する場合

カウント対象



➔ 課金対象はユーザなので、購入するパッケージ数は2式。
更に年数を乗算するため、 $2 \times 5 = 10$ 式を購入する。

Umbrellaパッケージ価格早見表（1式あたりの価格）

※購入するユーザ規模と年数によって同じ型番でも価格が変動します。

※価格は1ユーザ/年のDIS定価です。

DNS Security Essentials（型番:UMB-DNS-ESS-K9）

ユーザ数	1～99	100～999	500～999	1000～4999	5000～9999	10000～24999	25000～
1～2年間	¥7,200	¥6,120	¥4,540	¥4,170	¥3,600	¥3,450	¥3,250
3～5年間	¥6,480	¥5,500	¥4,080	¥3,760	¥3,250	¥3,100	¥2,910

DNS Security Advantage（型番:UMB-DNS-ADV-K9）

ユーザ数	1～99	100～999	500～999	1000～4999	5000～9999	10000～24999	25000～
1～2年間	¥10,790	¥9,180	¥6,800	¥6,270	¥5,400	¥5,180	¥4,860
3～5年間	¥9,720	¥8,250	¥6,120	¥5,630	¥4,860	¥4,670	¥4,370

SIG Essentials（型番:UMB-SIG-ESS-K9）

ユーザ数	1～99	100～999	500～999	1000～4999	5000～9999	10000～24999	25000～
1～2年間	¥14,390	¥12,230	¥9,070	¥8,350	¥7,200	¥6,910	¥6,480
3～5年間	¥12,950	¥11,020	¥8,150	¥7,520	¥6,480	¥6,220	¥5,840

※Umbrellaをご購入の際には別途サポートパッケージの購入が必須となります。

詳しくはこのページの下段をご参照ください

Umbrellaのサポートパッケージ

Umbrellaのパッケージとは別に下記の有償サポートの購入が必須です。

Enhanced Support for Umbrella（型番:SVS-UMB-SUP-E）

価格：購入するUmbrellaパッケージ合計価格の10%

提供されるサポート

平日9時～17時のメール / 電話サポート（日本語サポート）

※緊急性の高いケースのみ24時間365日のサポートとなります。

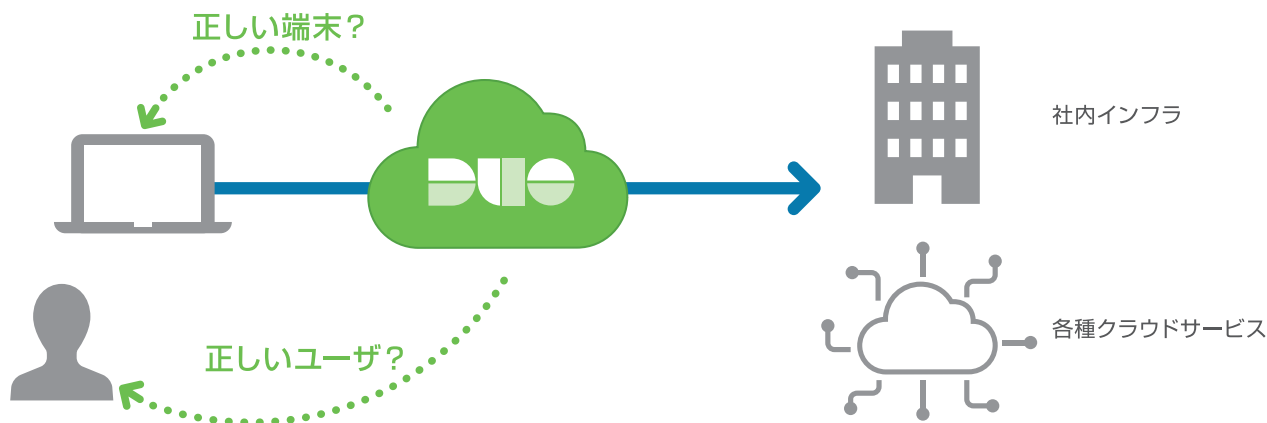
※より高度なサポートを提供するPremiumサービスもございます。詳しくは下記URLをご参照ください。

<https://umbrella.cisco.com/products/umbrella-enhanced-support-packages>

Cisco Duo Security

Duo Securityとは？

接続先のネットワークに依存せず、端末やユーザが信頼できるものかを識別するためのクラウドサービスです。



Duo Securityの主な機能

多要素認証によるユーザーの識別



多要素認証

知識要素

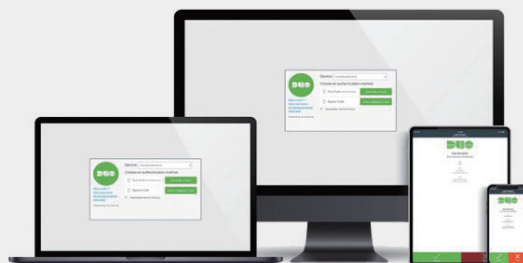
所有要素

生体要素

- ・ Duo Push 通知
- ・ モバイルパスコード
- ・ 電話へのコール
- ・ SMS
- ・ HOTP トークン
- ・ U2F / WebAuthn(生体認証)
- ・ 緊急時のバイパスコード発行

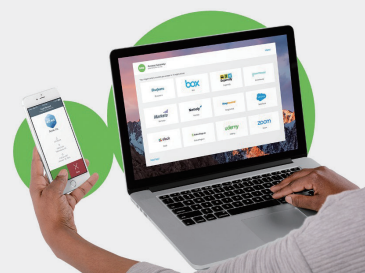
端末の信頼性評価

- ・ 管理デバイスかどうかを検査
 - ・ 危険なデバイスを監視
 - ・ 古いバージョンのOSやブラウザの通知
 - ・ Anti-Virus/Anti-Malwareの検査*
- *Duo Beyondライセンスが必要です。

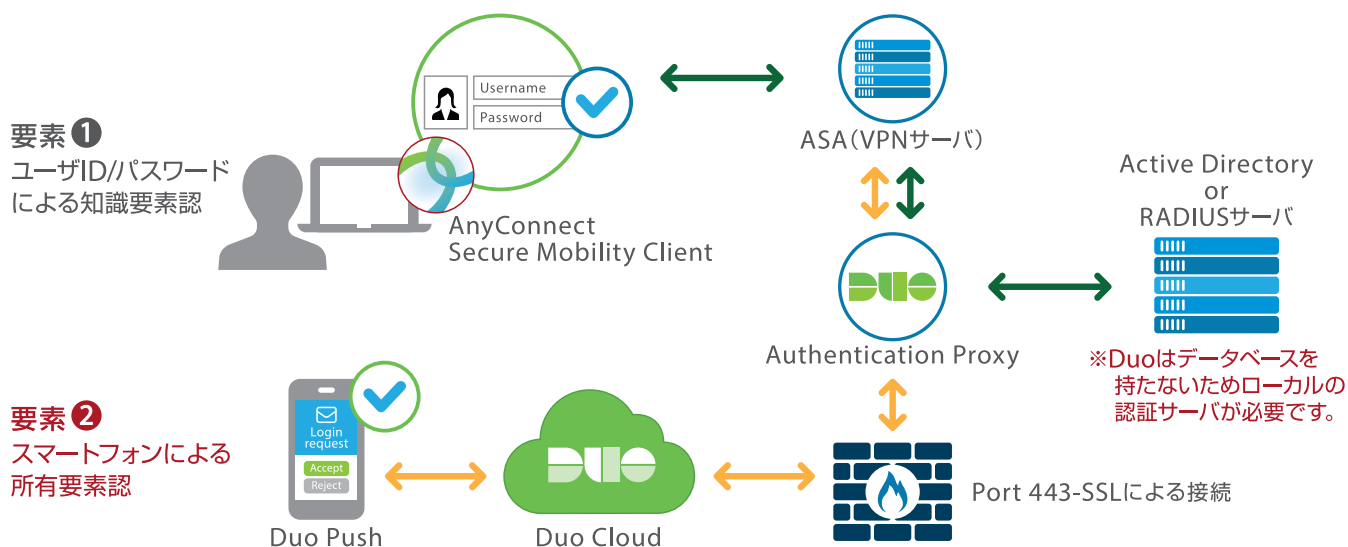


シンプルなセキュアSSO

- ・ 1つのダッシュボードから全てのアプリケーションへ簡単にアクセス
- ・ VPNレスでの一貫したセキュリティ制御
- ・ 全てのクラウドアプリケーションがセキュアに



Duo Securityによる多要素認証のイメージ (AnyConnectの例)



Duo Securityのライセンス



Duo MFA

(型番:DUO-MFA)

- ・多要素認証
- ・シングルサインオン(SSO)
- ・全てのアプリケーションを保護
- ・SAML2.0 フェデレーション
- ・クラウドアプリを保護



Duo Access

(型番:DUO-ACCESS)

- ・Duo MFAの全ての機能
- ・適応型グループベースポリシー制御
- ・デバイスの可視化
- ・ユーザベースポリシー
- ・デバイスベースポリシー



Duo Beyond

(型番:DUO-BEYOND)

- ・Duo Accessの全ての機能
- ・信頼されるエンドポイントの検出
- ・Duo Network Gateway (リバースプロキシ)
- ・Anti-Virus/Anti-Malwareの検知

簡易機能比較表

	Duo MFA	Duo Access	Duo Beyond
多要素認証(MFA)	●	●	●
端末の信頼性評価		●	●
シンプルなセキュアSSO			●

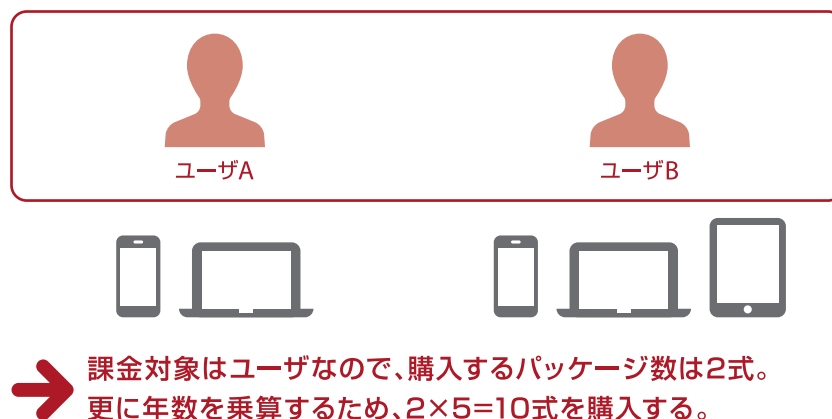
※詳細な比較表については下記リンクをご参照ください。

https://www.cisco.com/c/dam/global/ja_jp/products/catalog/pdf/cisco-duo-security-brochure.pdf

ライセンス数の考え方

<例> ユーザAが2デバイス、ユーザBが3デバイスを5年使用する場合

カウント対象



Duo Securityパッケージ価格早見表（1式あたりの価格）

※購入するユーザ規模によってライセンスの単価が変動します。

※価格はDIS定価です。

ユーザ数	DUO-MFA	DUO-ACCESS	DUO-BEYOND
1～999	¥4,800	¥9,590	¥14,390
1000～9999	¥4,540	¥9,070	¥13,590
10000～	¥4,000	¥8,000	¥11,990

Duo Securityのサポート

Duoのライセンス購入時に無償のサポート契約が付属します。

Duo Basic Support (型番:SVS-DUO-SUP-B)

価格: 無償

提供されるサポート 電話とEメールによる平日9時～17時のサポート(日本語対応)

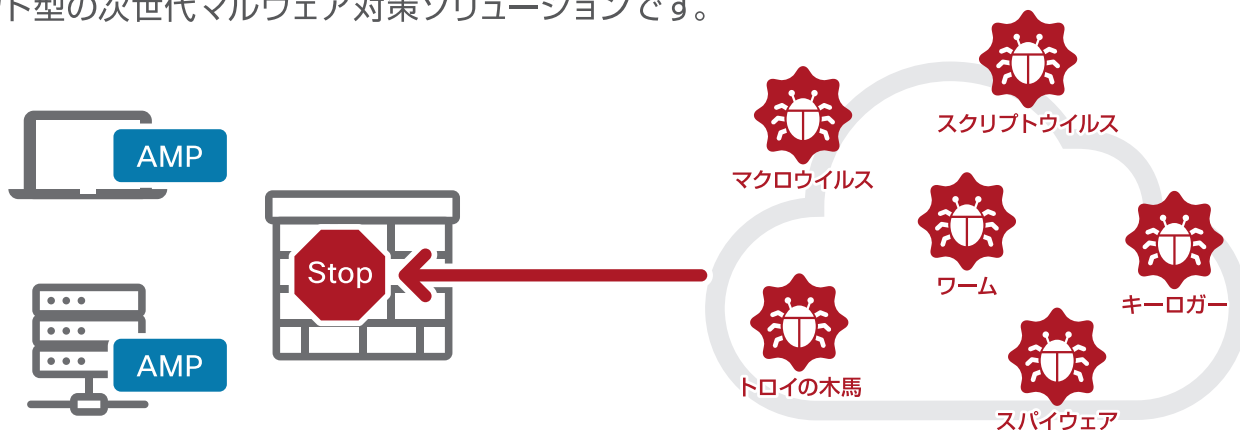
※より高度なサポートを提供するDuo Careプレミアムサービスもございます。詳しくは下記URLをご参照ください。

https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/duo/support/duo-care.html

Cisco AMP for Endpoint

AMP for Endpointとは？

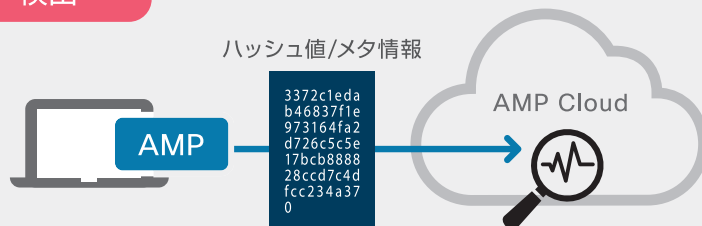
PCやサーバなどのエンドポイントにインストールして使用するクラウド型の次世代マルウェア対策ソリューションです。



AMP for Endpointの特徴的な機能

ハッシュエンジンを使用したマルウェア検出

クライアント側は対象ファイルのハッシュ値を生成しクラウドに送付。
マルウェア検出はクラウド側で実施するため、動作が非常に軽量で新しい脅威への対応が迅速。



トラジェクトリ (感染原因・範囲の特定)

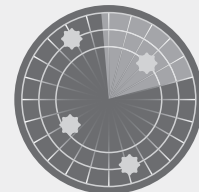
デバイス トラジェクトリ 感染原因を特定

- ・マルウェア ファイルはどのようにシステムへ入ってきたのか？
- ・どのような通信をおこなったのか？



ファイル トラジェクトリ 感染範囲を特定

- ・最初に感染したのは誰か？
- ・現在そのマルウェアはどのシステム上に存在するのか？



クラウドリコール (過去に遡った調査)

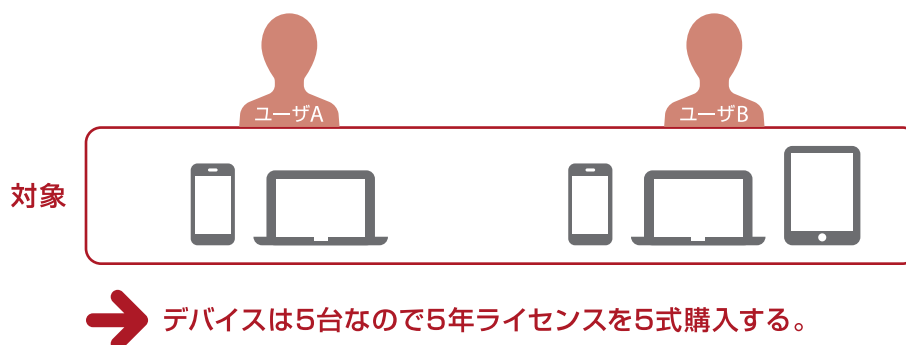
ダウンロード時にマルウェアが検出されなかったファイルが後からマルウェアと判明した場合、該当するファイルを暗号化された領域に隔離します。



AMP for Endpointのライセンス

AMP for Endpointはインストールするデバイス台数分サブスクリプションライセンスを購入します。

＜例＞ ユーザAが2デバイス、ユーザBが3デバイスを5年使用する場合



型番・価格早見表

※期間とデバイス数に応じて購入する型番と価格が変動します。

※価格は1ライセンスあたりのDIS定価です。

デバイス数	1年ライセンス	3年ライセンス	5年ライセンス
1～99	FP-AMP-1Y-S1 DIS定価 ¥10,390	FP-AMP-3Y-S1 DIS定価 ¥24,940	FP-AMP-5Y-S1 DIS定価 ¥41,570
100～499	FP-AMP-1Y-S2 DIS定価 ¥8,790	FP-AMP-3Y-S2 DIS定価 ¥21,110	FP-AMP-5Y-S2 DIS定価 ¥35,180
500～999	FP-AMP-1Y-S3 DIS定価 ¥6,720	FP-AMP-3Y-S3 DIS定価 ¥16,120	FP-AMP-5Y-S3 DIS定価 ¥26,860
1000～4999	FP-AMP-1Y-S4 DIS定価 ¥6,160	FP-AMP-3Y-S4 DIS定価 ¥14,770	FP-AMP-5Y-S4 DIS定価 ¥24,620
5000～9999	FP-AMP-1Y-S5 DIS定価 ¥5,280	FP-AMP-3Y-S5 DIS定価 ¥12,660	FP-AMP-5Y-S5 DIS定価 ¥21,110
10000～24999	FP-AMP-1Y-S6 DIS定価 ¥3,600	FP-AMP-3Y-S6 DIS定価 ¥8,630	FP-AMP-5Y-S6 DIS定価 ¥14,390
25000以上	FP-AMP-1Y-S7 DIS定価 ¥2,800	FP-AMP-3Y-S7 DIS定価 ¥6,720	FP-AMP-5Y-S7 DIS定価 ¥11,190

DIS ダイワボウ情報システム株式会社

▽ 全国に広がるDISネットワーク

お問い合わせはDISの各支店まで

▽ 北海道エリア

札幌支店 011-242-4236
旭川営業所 0166-27-0022
函館営業所 0138-51-5769
帯広営業所 0155-25-8750

▽ 東北エリア

青森営業所 017-732-5503
盛岡支店 019-651-8212
仙台支店 022-212-6450
秋田営業所 018-831-8021
山形支店 023-627-7222
郡山支店 024-939-5525

▽ 関東エリア

茨城支店 029-835-0811
宇都宮支店 028-610-8858
高崎支店 027-328-6450
大宮支店 048-640-1985
千葉支店 043-274-7341
横浜支店 045-440-5615
厚木支店 046-226-7240

▽ 東京エリア

東京第1支店 03-3556-2613
東京第2支店 03-3556-2612
東京第3支店 03-3556-2611
東京第4支店 03-3556-2614
東東京第1支店 03-5746-6321
東東京第2支店 03-5746-6311
東東京第3支店 03-5746-6333
東東京第4支店 03-5746-6391
西東京第1支店 03-5321-7558
西東京第2支店 03-5321-7672
西東京第3支店 03-5321-7673
立川支店 042-528-6811
南東京第1支店 03-5746-6335
南東京第2支店 03-5746-6474
南東京第3支店 03-5746-6334
中央東京第1支店 03-5746-6308
中央東京第2支店 03-5746-6323
中央東京第3支店 03-5746-6331
コンシューマ第1支店 03-5746-6421
コンシューマ第2支店 03-5746-6424
モバイル・クラウド営業
1グループ 03-5746-6289
2グループ 03-5746-6293

▽ 中部エリア

新潟支店 025-240-0161
長岡営業所 0258-31-2351
富山支店 076-444-1260
金沢支店 076-263-2461
福井支店 0776-28-0955
甲府支店 055-221-3350
松本支店 0263-31-8722
長野営業所 026-291-8544
岐阜支店 058-265-5418
静岡支店 054-202-0325
沼津営業所 055-954-3011
浜松支店 053-456-0661
名古屋第1支店 052-202-6371
名古屋第2支店 052-202-6372
名古屋第3支店 052-202-6378
刈谷支店 0566-23-1131
四日市支店 059-352-0448

▽ 関西エリア

大阪第1支店 06-4964-6191
大阪第2支店 06-4964-6192
大阪第3支店 06-4964-6193
大阪第4支店 06-4964-6194
大阪第5支店 06-4964-6195
大阪第6支店 06-4964-6196
大阪第7支店 06-4964-6765
大阪第8支店 06-4964-6402
コンシューマ第1支店 大阪営業所
06-6281-9111
京都支店 075-253-0170
神戸支店 078-392-2650
姫路支店 079-288-6881
滋賀営業所 077-510-1633
和歌山営業所 073-425-2371

▽ 中国エリア

鳥取支店 0857-37-1230
松江支店 0852-27-1621
岡山支店 086-235-1710
広島第1支店 082-511-7735
広島第2支店 082-511-7736
山口支店 083-974-5060

▽ 四国エリア

徳島営業所 088-622-9821
高松支店 087-811-0232
松山支店 089-947-6379
高知営業所 088-820-5510

▽ 九州・沖縄エリア

福岡第1支店 092-433-5621
福岡第2支店 092-433-5630
北九州支店 093-512-6760
佐賀支店 0952-22-2171
長崎支店 095-829-0266
熊本支店 096-211-8501
大分支店 097-538-9230
宮崎支店 0985-35-8715
鹿児島支店 099-227-2071
沖縄営業所 098-860-0530

※本カタログの内容は2020年9月現在の情報です。
※本カタログに記載された製品ならびにサービスの内容は、改良等の目的で予告なく変更する場合があります。
※VMware、VMware vSphere、VMware vCenter Server、VMware Workstation、その他本冊子に記載
されるVMwareの製品およびサービスの名称は、VMware, Inc.の米国および各国での商標または登録商標です。